Creative Enzymes®

E. coli由来フルクトシルペプチダーゼ、組換え

Cat. No. DIA-410

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フルクトシルペプチダーゼは、酸素分子の存在下で、グルコシルアミンとペプチドのN末端アミノ基との反□によって生成されるケトース誘導体のC--N結合を酸化的に切断する反□を触媒し、糖オソン（α-ケトアルデヒド）、ペプチド、および過酸化水素を生成する酵素です。
別名	フルクトシルペプチド：酸素酸化還元酵素; EC 1.5.3; フルクトシルペプチドオキシダーゼ

製品情報

種	大腸菌
由来	E. coli
外□	黄色の凍結乾燥物
***EC*番号**	EC 1.5.3
分子量	ca. 60 kDa
活性	> 4 U/mg 凍結乾燥物
***pH*安定性**	6.0–9.5
最適pH	7.5–8.0
熱安定性	45°C未□
最適温度	35–42°C
ミカエリス定数	3.4 x 10^-3 M (フルクトシル-バリン-ヒスチジン) 4.4 x 10^-3 M (フルクトシル-グリシン) 8.9 x 10^-3 M (Nε-フルクトシル-リジン)
構造	52 kDaのモノマー（SDS-PAGE）
特異性	フルクトシル-バリン-ヒスチジン (100)、フルクトシル-グリシン (53)、Nε-フルクトシル-リジン (84)
安定化剤	EDTA、グルタミン酸
単位定義	1ユニット（U）は、37°CおよびpH 8.0で1分あたり1μmolの過酸化水素を生成する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで
安定性	37°Cで少なくとも1ヶ月間安定